

東京湾海況情報 13 - 20

東京湾水質調査結果(平成14年3月分)

平成14年3月8日
 千葉県水産研究センター 富津研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

資料：水質調査 3 / 4 内房海域：第2ふさみ丸，東京内湾：わかふさ七四郎丸・ふさなみ観測資料，一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

東京湾水質調査結果(平成14年3月分)

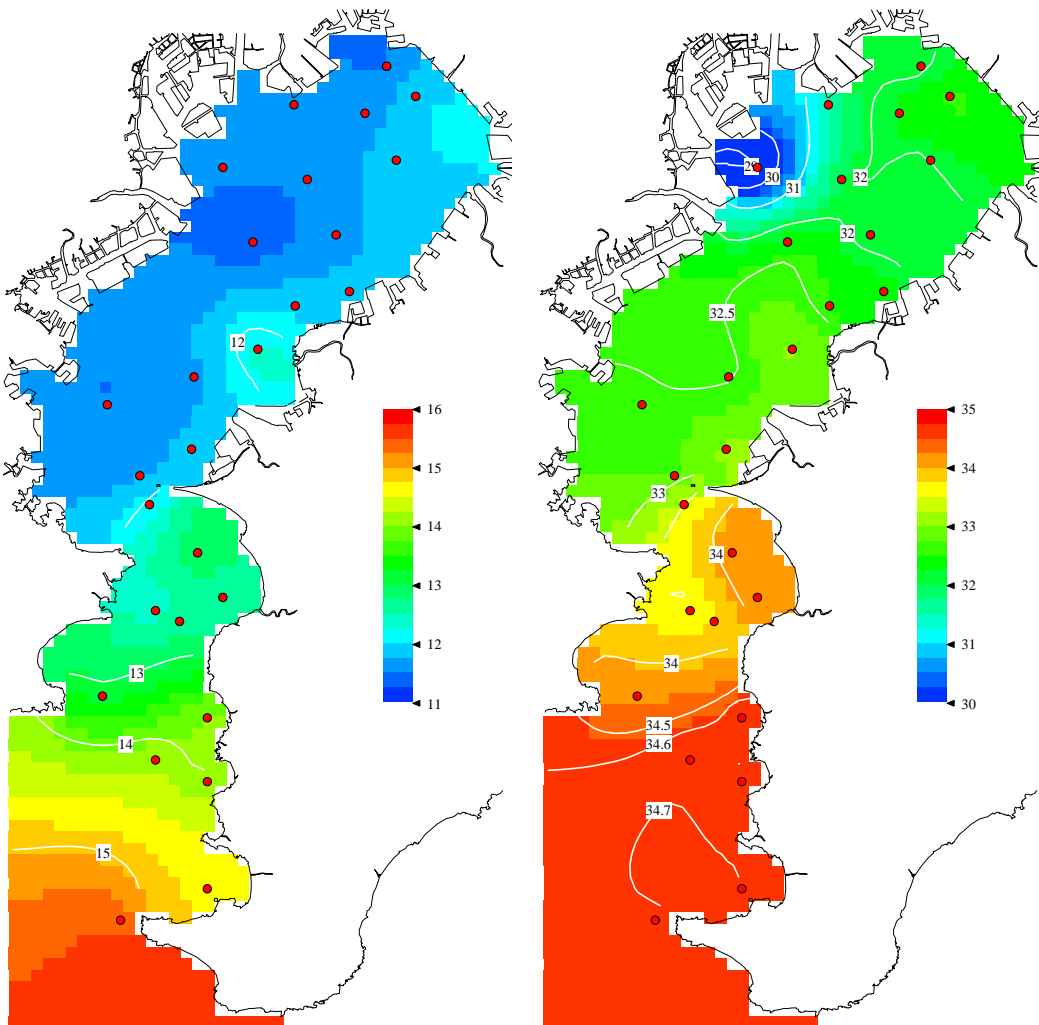


図1 表層の水温・塩分分布

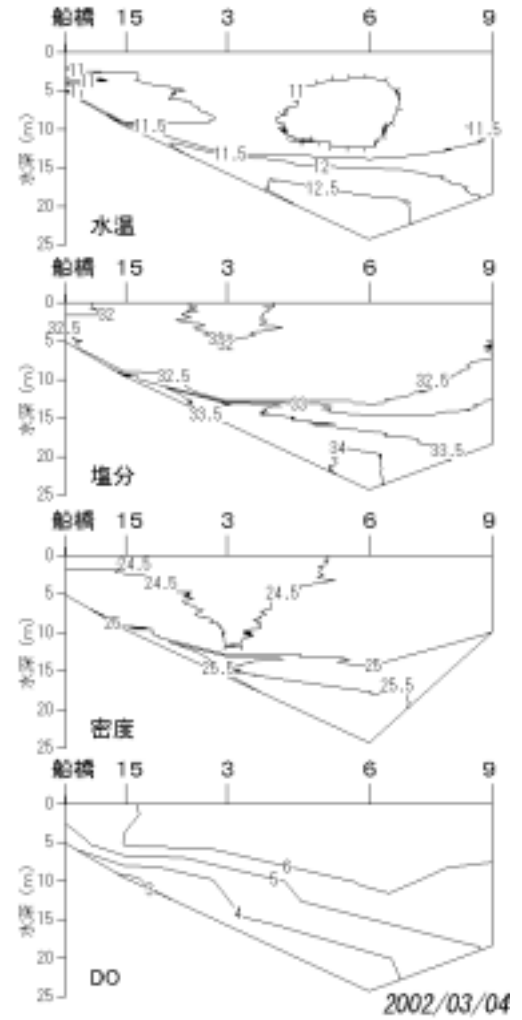


図2 内湾縦断面の鉛直分布

水温・塩分の状況(図1~3,表1)

表層の水温は内湾で11~12, 内房海域で12~15でした。内湾で平年よりやや高め内房海域では平年並みです。塩分は内湾で28~33, 内房海域で33~34でした。

内湾縦断面の鉛直分布では水温10~12, 塩分31~34でした。内房海域の鉛直分布では水温11~15, 塩分33~34でした。

赤潮の状況(図4,表1)

2月中旬に発生していた珪藻赤潮は解消し、今回の調査では赤潮の発生海域はありませんでした。クロロフィルa量も1桁~10 $\mu g/L$ に低下しています。

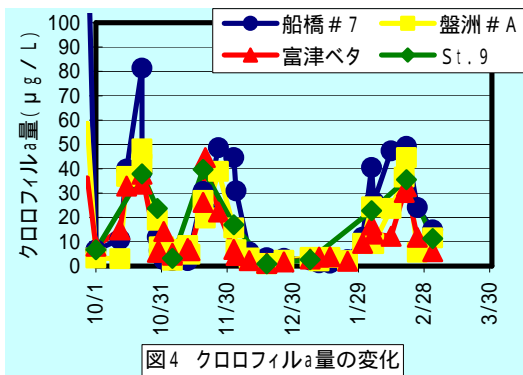


図4 クロロフィルa量の変化

ただし現在も珪藻赤潮を形成していたキートケロス (*Chaetoceros* sp.), スケルトネマ (*Skeletonema costatum*) が優先種であるほか, 夏場の赤潮プランクトン種である渦鞭毛藻類のシストからの発芽が観察されていますので, 今後の天候次第では再び赤潮の傾向になる可能性があります。

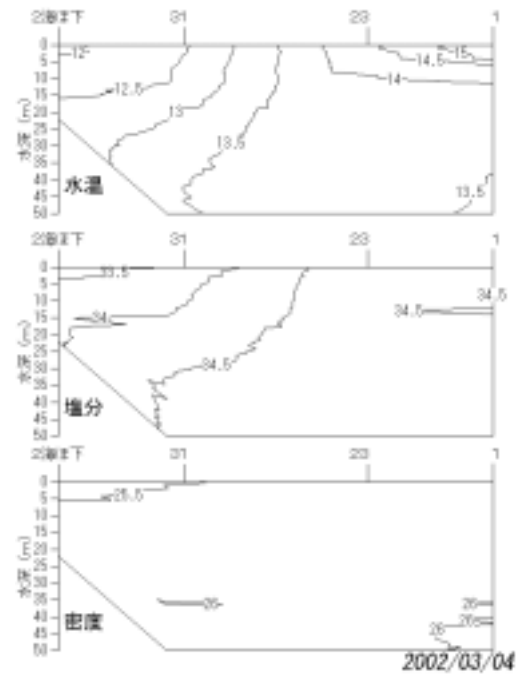


図3 内房海域の鉛直分布

